

当面の技術対策（畜産編）

令和5年5月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

1 草地管理

牧草の萌芽は平年より6日早でした。降水量は、4月は平年よりも多く、5月上旬は平年よりも少なくなっており、草丈は平年並に生育しています。

また、4月下旬から断続的な強風により木の枝が草地に飛ばされている状況も見受けられます。牧草の草丈が短いうちにほ場内に異物がないか再度確認し、収穫作業に備えましょう。また、冬枯れなどにより裸地が目立つ場合は、1番草収穫後の追播を検討しましょう。

2 サイレージ用とうもろこし除草剤の土壌処理

は種作業が一段落したら、防除作業に向けスプレーヤ等作業機の整備、点検をおこなって下さい。降水量不足によりほ場が乾燥しています。土壌処理を行う場合は、朝露や降雨後などできるだけ土壌が湿っている状態での散布や、水量を増やすなどといった対応が必要になります。

土壌処理後に雑草の発生がみられる場合は、除草剤茎葉処理も併せて実施しましょう。土壌処理除草剤の有効成分により散布できない茎葉処理除草剤があります。農協又は普及センターにご相談ください。

表1 サイレージ用とうもろこしの主な土壌処理除草剤

除草剤名	主な対象雑草	使用時期	使用量 (10a 当り)	総使用回数により2回 散布できない除草剤
フィールドスターP 乳剤	1年生イネ科雑草	は種後～2葉期	75～120ml	同剤
ラッソー乳剤	1年生イネ科雑草	は種後～出芽前	200～400ml	同剤
ゲザノンゴールド	1年生雑草	は種後～出芽前	140～260ml	同剤 ゲザプリムフロアブル デュールゴールド
ゲザプリムフロアブル	1年生広葉雑草	は種後～2～4葉期	100～200ml	同剤 ゲザノンゴールド